


提出 順番	No. 4	平成 29年 8月 25日 午前・午後 2時 3分受領
----------	----------	--------------------------------

平成29年 8月25日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 小島 智恵 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
①道立幕別高校と私立江陵高校の統合（新設）について	<p>少子化の進展によって将来的に生徒数の減少が予測される中、町内の「高校存続」を見据えて、4月14日町は道教委に対し、道立幕別高校と私立の多田学園江陵高校の再編統合について要望を行ってきた。道内で道立と私立が再編統合されたのは、平成20年、道立網走向陽高校と私立網走高校が統合し、向陽高校校舎に道立網走桂陽高校が新設された道内初の事例がある。6月6日公立高等学校配置計画案が公表され、「幕別高校については、江陵高校が募集停止となること等考慮し、平成31年度に2学級増の3学級とすることとし、31年度入学者から、江陵高校の校舎を使用する」「学科は検討中」と示され、再編統合が配置計画案に位置付けられたところだが、要望してきた「1学年4学級」は叶わず、計画が決定する9月まで引き続き要望していくとお聞きしている。</p> <p>この再編統合によって、全く新しい道立の全日制普通科高校が新設されることが予定されるため、以下について伺う。</p> <p>①これまでの経過と現状。 ②今後の見通し。新しい学校名や私立江陵高校からの教職員の採用について。 ③魅力ある、将来にわたって持続可能な高校になるために、町としての支援の考えは。</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>②海外資本、外国人による森林、土地の買収について</p>	<p>道は、海外資本等による森林取得事例を調査したが、平成 28 年に海外資本や外国人が買収した北海道の森林や土地の面積は、30 件、509ha となり、統計が残っている平成 23 年以降で最大となっている。その中には、驚くことに足寄町（3ha）の買収も含まれ、過去には清水町での事例もあるが、紛れもなく十勝で起きている現状にある。同年末までの累計では、124 件、2,411ha にものぼる。農林水産省（林野庁）では、外国資本による森林買収に関する調査の結果について公表し、平成 28 年は全国で 29 件、202ha、そのうち北海道が多くを占め、25 件、201ha となっている。</p> <p>海外資本等の森林買収の増加を受けて、ニセコ町では平成 23 年 5 月「ニセコ町水道水源保護条例」を施行し、罰則も設けている。道では平成 24 年 4 月「北海道水資源の保全に関する条例」を施行している。</p> <p>今後も外国人や海外資本進出や買収による水資源や乱開発、安全保障上においても大変懸念されるため、以下について伺う。</p> <p>①海外資本、外国人による森林や土地の買収について町の見解、町内におけるこれまでの状況。</p> <p>②海外資本、外国人による売買情報、チェック体制は。条例化など規制することについて。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。